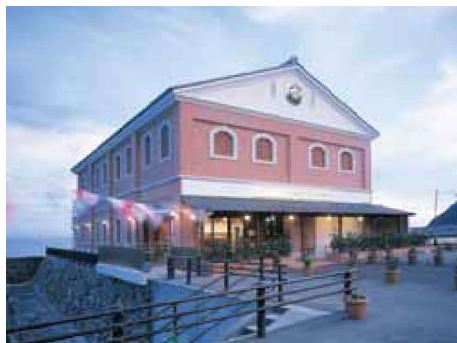




## 『薩摩藩英国留学生記念館』



所在地	いちき串木野市羽島	所有者・管理者等	いちき串木野市
設計者	(有)オフィスフィールドノート, (有)下舞建築設計事務所		
施工者	川崎産業(株), (有)須納瀬設備工業所, (有)大興電設, (有)藤田設備工業所		
その他計画に携わった者	れいめい羽島協議会		
完成年度	平成25年度		
概要			

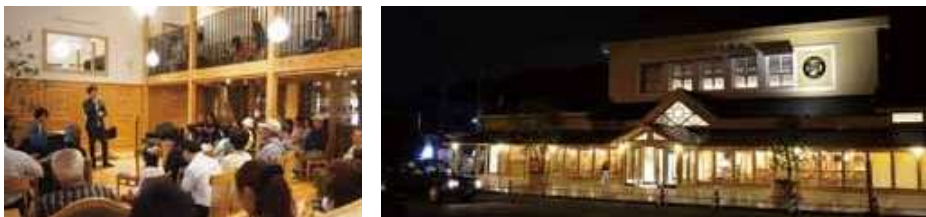
薩摩藩英国留学生記念館は、1865年に英国で最先端の技術などを学び、日本の近代化に尽力した薩摩藩英国留学生の船旅やその後の活躍について紹介し、彼らの功績を後世に伝える施設で、留学生たちが旅立った「出発の瀬」である羽島浦に臨む、風光明媚な海岸沿いに建築されている。

### 講評

本記念館の2階部分に、留学生たちが渡航の際に乗った洋式機帆船をモチーフにしたマスト付の展望デッキを設けるなど、羽島浦からの船出をイメージした外観で、歴史的な場所にふさわしい雰囲気を出している。建物の外壁は、火山灰等を利用して焼き上げた風合いの異なる赤レンガを、白目地とイギリス積み方式で積み上げ、上品で表情豊かなものとなっている。また、屋根は、和瓦を白漆喰で固定し、鬼瓦や棧瓦には、館のシンボルである星形をあしらうなど、細部までこだわりを持って造られている。赤レンガと和瓦白漆喰という外観は、周囲の自然景観や集落景観と調和した風情あるデザインで、地域の貴重な歴史をアピールし、伝える施設としての役割だけでなく、地域の観光・交流拠点となっていることなどが高く評価できる。



## 優秀賞 『にぎわい交流館 阿久根駅』



所在地	阿久根市栄町	所有者・管理者等	阿久根市, 肥薩おれんじ鉄道(株)
設計者	(株)ドーンデザイン研究所, (株)交建設計		
施工者	阿久根建設(株)		
完成年度	平成26年度		
概要			

にぎわい交流館阿久根駅は、多くの人々に愛された、思い出のある駅舎の外観を残しつつ、さらに良いものにリメイクするという方針のもとにデザインされたものである。

駅を利用する人々だけでなく、市民が気軽に集える場として活用できるように、ミニコンサートやギャラリーなど多目的に使える駅ホール(待合室)、カフェ、ミニ図書館、キッズコーナーなどが設けられている。

### 講評

外観は、旧駅舎のイメージを残しつつ、落ち着いた色とユニークなフォルムとなり、駅としての機能だけでなく、交流の場として地域のシンボルとなっている。また、夜間はライトアップされ、昼間とは異なる表情をみせている。

駅舎の内装には、木材がふんだんに使用され、親近性に富み、内部の仕上げや家具等も質の高いデザインで、従来の駅舎には見られない魅力的な空間を創出している。

阿久根市、おれんじ鉄道、市民が一体となって実現した建築物であり、単に通過する駅ではなく、「滞在する駅」として、まちの活性化に貢献するとともに、駅のあり方について一石を投じていることなどが評価できる。

## 優秀賞 『曾木の滝分水路』



所在地	伊佐市大口曾木	所有者・管理者等	国土交通省 九州地方整備局 川内川河川事務所
設計者	熊本大学大学院自然科学研究科 教授 小林一郎, 准教授 星野裕司, 熊本大学空間情報デザイン研究室, 景観デザイン研究室, (株)東京建設コンサルタント		
施工者	(株)有迫組, (株)田代組, (株)森山(清)組, こうかき建設(株), 林建設(株), (株)北原組		
完成年度	平成22年度		
概要			

曾木の滝分水路は、平成18年7月に発生した鹿児島県北部豪雨によって、甚大な被害を被った川内川上流域の洪水被害を低減させるため、川内川激甚災害対策特別緊急事業により「曾木の滝」周辺に整備されたものである。

年間約30万人の観光客が訪れる曾木の滝や周辺景観との調和を図るため、「あたかも自然が創り出したかのような景観の創出」をコンセプトとして整備されたものである。

### 講評

曾木の滝分水路の整備においては、設計段階から学識経験者や地域住民代表などを含めた検討や、工夫を重ねた施工など、すべてのプロセスにおいて新しい試みを行っている。

人工的な形状や色にならないように検討され、周りの景観になじませるなど、きめ細やかさがあり、計画策定から施工に至るまで、地域の方々と一緒に、良いものを作ろうという一連の取組がとても貴重で素晴らしく評価できる。

なお、完成後、地域の方々と曾木の滝分水路の一般公開イベントを開催するなど、災害を忘れないための取組も始まっている。



## 『高塚避難小屋』



所在地	屋久島町宮之浦	所有者・管理者等	屋久島町
設計者	榎坂茂建築設計	施工者	榎ヒラウチ建設
その他計画に携わった者	赤津慎太郎(榎レモンガスカゴシマ代表取締役社長)		
完成年度	平成25年度		

### 概要

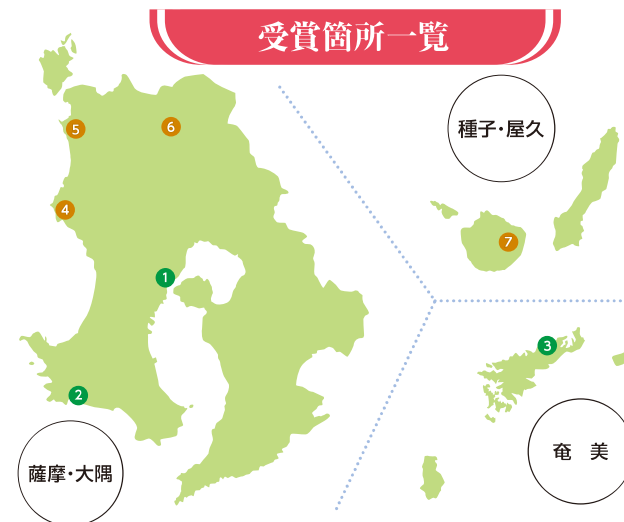
高塚避難小屋は、世界自然遺産登録地域内にあり、「縄文杉」の近くに位置する避難小屋で、昭和45年に建設された旧施設の老朽化が進んでいたことから、赤津慎太郎氏(榎レモンガスカゴシマ代表取締役社長)の寄付により建て替えられたものである。

外壁には印刷用紙の芯などに使われるパイプ(紙管)を防水加工し、耐久性を確保した素材を使用しており、資材運搬が困難な山岳部での維持管理に適したつくりとなっている。

### 講評

公共施設でありながら、民間の寄付により建て替えられたことに加え、自然景観に配慮したシンプルなデザインであること、軽量の資材によりメンテナンスを容易にできるように考えられていることなどが、世界自然遺産の島、屋久島の環境にふさわしく、自然と調和しているという点で評価できる。

### 受賞箇所一覧



### 審査について

都市デザイン部門は、自薦・他薦を含め 49 件の応募があり、1次審査にて2次審査へ進む案件を9件に絞り込んだ。2次審査には表彰案件以外に、「霧島市横川総合支所」、「虎居地区堤防・推込分水路」、「黎明みなど大橋」、「かしんアイホールビル」、「奄美・沖縄フェリーターミナル」が選定された。

このうち、「霧島市横川総合支所」は、地域木材等の地場産材を活用している点が評価されたが、受賞には至らなかった。また、1次審査で選外となったものの中には、「石積み咲く石の華」のように沿道景観の向上を目指すものや、「ガーデンハウス桜ヶ丘」や「サザンブルー鹿児島」のように福祉施設を中心としたまちなみ形成を目指すもの、「伊敷病院」や「厚地脳神経外科病院」、「さかさ脳神経外科」など地域住民との交流の場となるような医療施設が出てきており、今後、地域と一体となった景観づくりによる周辺景観の変化が楽しみである。



第1回	
1 [大賞]	甲突川リバーサイドウォーク事業 (鹿児島市)
2 [優秀賞]	枕崎駅舎 (枕崎市)
3 [優秀賞]	鹿児島県立奄美高校・奄美図書館 (奄美市)
第2回	
4 [大賞]	薩摩藩英国留学生記念館 (いちき串木野市)
5 [優秀賞]	にぎわい交流館 阿久根駅 (阿久根市)
6 [優秀賞]	曾木の滝分水路 (伊佐市)
7 [奨励賞]	高塚避難小屋 (屋久島町)